

社会福祉法人大里ふくしむらデイサービスセンター「花ぞの」にて公演（第78回公演）

8月25日(土) 猛暑日に10:00より社会福祉法人大里ふくしむら デイサービスセンター「花ぞの」にて、約1時間の公演を行いました。

当施設は大里の豊かな自然をのぞむ、小高い丘の上に立つきれいな施設です。

朝から一日中夏祭りのイベントの日で、我々が到着した時には、玄関横に特設ステージ、又良く 手入れされた芝生の前庭には、職員たちがテントを張ったり大忙しでした。

午前中は我々の公演がメインで、一昨年、昨年と3回目で見慣れた施設長室で早速着替えました。



施設長室には左の文章が印刷された暖簾があり、自分を戒めるため必要な言葉と思いました。

着替え後早速N、Nさんコンビのオカリナの音合わせもバッチシで、会場に入りました。



会場には30人程の通所者の方々と職員7~8名の方に待ち受けておられ、拍手で迎えて頂きました。Iさんの挨拶から始まりKさんの司会でいよいよ公演のスタート。

先ずは南京玉すだれの「基本技」では阿弥陀様、五輪マーク、鯛、東京タワー、枝垂れ柳、大扇子を開く時の小気味良い音には（お〜っ）と驚きの声と大拍手を戴きました。



続いて自己紹介の後は水戸黄門の主題歌『ああ人生に涙あり』最後のこれが目に入らぬかの「葵の印籠」の印籠には反応はいまいち??

（座長がまえの方の方に、手に持って貰って説明すると納得顔）



続いては「キヨシのズンドコ節」では元気にキヨシコールを戴き、踊っている我々も乗ることができました。



「麦畑」では殆どの方から手拍子を戴き、最後のハートマークでは大拍手 演技者が出来栄に気に入らなかったのか、更にもう一度ハートマークを作ると更に大拍手！！

Iさんのお金の使ったマジックでは扇子からお金が出て来ると不思議そうに目を凝らして見ていました。

新聞の中に水を入れて注ぎ口を下にすると、こぼれるのではと後ずさり、こぼれないとわかると大拍手 最後に赤い水をコップに出すと「オーッ」と感嘆の声。



Kさんのマジックでは赤、黄のリング状の紐が上になったり下になったりでは、口をあぐり。

ネクタイを使った技では首を絞めちゃうのではと、心配そうにみていましたがずっと抜けると安心の拍手。



Nさんコンビでの「オカリナ」では、「この広い野原いっぱい」と「四季の歌」を演奏し、四季の歌では歌詞を大きく印刷して前に掲示したため、曲に合わせて歌ったり、身体をリズムに合わせて動かしたり、楽しんでおられました。



最後はIさんのドジョウ掬い 暫くしてなかったのが不安でしたが、間違っても分らないので度胸を据えて演技 ユーモラスな格好と演技に充分すぎる程の拍手を戴きました。

座長からは、演技の合間や終演挨拶に玉すだれの起源、衣装他の購入先、大道芸は「衣装7分、芸3分」の話や『熊谷座』の成り立ちの説明を行い、そしてこれからも一生懸命練習しレベルアップするので、機会有りましたら又お会いしましょうで終演となりました。

帰り際に担当の方から4回目の公演を依頼されました。



久々に6人揃ったので帰りに、途中にあるお寿司屋さんで「お寿司」を食べ乍ら反省会と更なるバージョンアップを誓い帰路につきました。

(記 : 磯田 壯男)

(写真撮影 : 中山 陽子)